



オーストラリア直送レポート

Vol.5 2019.8.15 登校四日目

●ドリップストーン校グループ／教育委員会社会教育課井口

吉備中学校 島本

●パーマストーン校グループ／教育委員会社会教育課 湯田・林

【ドリップストーン校グループ】

今日の朝は、少し雲が掛かっており、昨日よりも涼しい朝でした。いつも通り、ドリップストーン校に登校すると、昨日も卓球を誘ってくれた先生が、今日は体育館でバスケをしようと研修生たちを誘ってくれました。現地の先生方も、研修生たちと現地の生徒との交流を持つ場を与えてくださり、非常にありがたい環境だと、改めて感じました。今日は、エマ先生の引率で現地の生徒達とワイルドライフパークに行く予定です。この場所は、オーストラリア特有の動物や生き物を展示している、日本の動物園の様な場所です。しかし、歩いて園内を回れないほど、広大なので園内にシャトルバスが走っています。ドリップストーン校から約50分バスに乗り、目的地に到着しました。バスの中の研修生たちは、友達と喋っていたり、窓からの景色を見たり、疲労がたまっているのか寝ている研修生など、様々でした。ワイルドライフパークに到着し、まず初めに爬虫類などを見た後、ワラビーの見学をしました。実際に触ることもでき、研修生たちは怖がりながらも、背中をなでたり、写真を撮ったりしていました。現地の生徒達は怖がる研修生たちを見て、「触っても大丈夫だよ」と優しくサポートしてくれていました。



その他に、エミューやワシなどのショーを見学し、種類によってエサの食べ方や飛び方などの違いを実際

に見ることができ、研修生たちも写真を片手におどろいた様子でした。中には、写真データ容量を気にしている研修生もあり、それほど毎日貴重な体験をしていることを確認することができました。ショーを見た後は、少し早めの昼食をとりました。今日の昼食は、サンドウィッチとフルーツなどでした。昼食を食べ終わるころに、パークの係員が亀やトカゲを実際に持ってきてくれ、それぞれの生息地や生態について説明してくれました。トカゲの舌が青い理由やオスとメスの見分け方など、エマ先生が研修生たちに分かりやすく説明をしてくれました。実際に、トカゲや亀に触ることもでき、研修生たちは恐る恐る触っていました。



その後は、全員シャトルバスで移動し、クロコダイルやバラマンディなどを見学し、残りの時間は自由時間となりました。研修生たちは、いくつかのグループに分かれましたが、それぞれのグループに現地の生徒が混ざり、現地の生徒に案内をしてもらっていました。広大な敷地なので、自分たちで時間通りに戻ってくるか少し心配でしたが、集合時間の10分前には全員が集まっており、研修生たちの成長を感じることができました。この研修で身に着けたことは、研修が終わった後も、研修生たちの人生の中で役立ててほしいと思います。その後、バスに乗り、ドリップストーン校に帰ってきましたが、帰りのバスの中は、一日歩いて疲れたのか、ほとんどが寝ていました。明日は最後の登校日です。現地研修は残りわずかとなり、「あと数日しかない」や「ここに住みたい」などの声も聞こえてくるようになりました。明日に疲れを残さず、最後のドリップストーン校での時間を、後悔することなく、過ごしてほしいと思います。研修生たちには、より一層、積極的な姿勢で明日を過ごしてほしいと思います。(井口)



今日は 1 日ワイルドライフパークというとても大きな動物園にホストファミリーの子供達と一緒にきました。4 日目ともなると、どの研修生もホストファミリーの子供と英語や身振り手振りを使ってしっかりとコミュニケーションをとれるようになってきました。また日本語や日本の学校について教えている姿も見られました。

ワイルドライフパークでは実際にワラビーに触れることができたり、鳥のショーを見学することができました。特に 4m を超える大きなワニにはみんな大興奮していました。昼食を食べた後には、飼育員の方が特別にオーストラリアに生息する大きな亀と大きなトカゲを持ってきてくれました。恐る恐るそれぞれの動物に触れて盛り上がっていました。

数名の研修生から「もうすぐ終わりやなあ」、「まだ帰りたくないなあ」という声が聞こえてきました。そんな風に思えるくらいホストファミリーや現地の生徒に恵まれて、いい経験ができているのだと思います。明日はとうとう学校に登校する最終日です。もう 1 度オーストラリアで研修できていることに感謝して最後の 1 日を大切に過ごしてもらいたいと思います。(島本)

[パーマストン校グループ]

オーストラリア研修 第8日目

(湯田) 日本を出発して8日目、今日はスクールバスで移動し、ダーウィン市内を周ります。

最初の場所は、Military Museum (軍事博物館) です。第 2 次世界大戦で日本軍がオーストラリアのダーウィンをゼロ戦で攻撃しました。そのときの記録が展示されています。パーマストンの先生は、過去に戦争もあったけれど、今は日本とフレンドリーであると言っています。博物館の一角には、ゼロ戦や潜水艦で亡くなった日本兵を祀っている場所もあります。ちょうどこの日は、日本は終戦記念日。戦争について考えさせられる日となりました。研修生たちも戦争とはどういうものなのか感じてくれたらうれしいです。



次に見学するのは1883年から約百年間使われていた刑務所です。今は閉鎖され、一般観光用に公開されています。研修生たちは興味深そうに見学し、独房などなかに入って写真を撮っています。絞首台などもありました。さすがにここではシャッターを切る気がしません。なので、すぐにその場を離れました。ほかには点呼を取る場所なのか地面に番号の描いたプレートが埋め込まれた場所もありました。



2つの施設を見たところでちょうど昼食の時間です。景色のいいところまでスクールバスで移動します。公園に到着し、ここでサンドイッチやフルーツがテーブルに並べられます。自分の好きなものを手にして近くのベンチで食べます。ピクニックに来ているようで楽しい時間でした。



午後からは、ダーウィンで一番古い教会を見学し、ダーウィンのあるノーザンテリトリー州のパラメントハウス（州の議事堂）を見学します。ここは、セキュリティが厳しく、空港でのセキュリティチェックの様に手荷物検査、身体検査があります。



ここでは、パーマストーン校の先生が館内を説明してくれます。午後2時になり、そろそろ学校に戻る時間です。スクールバスに乗り込みます。議場見学は時間が足りなく観ることはできませんでした。残念でした。



日本を離れすでに 8 日、慣れない海外に研修生も疲労がたまってきているのか、ほとんどの研修生が帰路のバスの中で寝ていました。

月曜日からパーマストーン校で研修していますが、アツという間に明日が学校に通う最終日となってしまいました。疲れもあるでしょうが「がんばれ！研修生」。

（林） 登校4日目。オーストラリアダーウィンの朝は、6時頃は空にうっすら雲がかかっていますが、7時を過ぎる頃には雲一つない快晴に変わっています。しかし、今朝の天気は7時を過ぎても曇り模様でした。これは、有田川町に近づいている台風の影響か、はたまた研修生の心を映す天気なのでしょうか。PS校に到着すると、研修生たちがPS校生と写真を撮ったり、インスタグラムのアカウントを教えあったりしていました。昨日の夜は、解散時間が、午後8時30分過ぎだったのでこちらの、生活スタイルに慣れ始めている研修生にとって寝不足になっていないか心配でした。やはり数人の研修生から「眠たい」との声も聞かれました。しかし、体調不良を訴える研修生はいなくて安心しました。今日は、昨日に引き続き校外研修です。校外研修用のバスが来るまでに、「今日、8月15日は何の日か知っている」と質問をすると8割以上の研修生が知らないと答えました。私から、「今日8月15日は終戦記念日」だよと伝えました。私たちが現地研修にきているダーウィンは旧日本軍が攻撃した場所でもあります。日本の事を学び、相手を理解するためにもそういう歴史もあったんだよと伝えました。

さて昨日に比べて研修生たちの団体行動意識（時間厳守、素早く行動する等）が高くなっているの、でPS校からバス移動する時なども円滑に行動することが出来ました。バスの車内では、昨日の疲れがでて

いるのか、移動中仮眠をとっている研修生や窓から見える景色をカメラにおさめる研修生もいました。

午前中一つ目の校外研修場所は、イギリスからオーストラリアダーウィンに飛行機での横断を記念した石碑を見学しました。横断が行われて今年で100周年の記念であり、当時のパイロットの名前がダーウィンの主要道路につけられていることなどを、引率のアニータ先生、ルーシー先生から教えていただきました。次の研修場所は軍事博物館です。ここには、先の大戦でダーウィンが爆撃された時の展示や、オーストラリア軍の歴史が展示されている博物館です。この博物館に入館する前アニータ先生から「第二次世界大戦では、オーストラリアダーウィンは日本に攻撃されました。しかし、それは昔のことで、今私とあなたたちは、友達です。だから気にしないでいいんだよ」と研修生にお声がけをいただきました。研修生たちは神妙な面持ちで、先生の話を受け止めていました。約一時間の博物館研修を終えて、午前中最後の校外研修先であるダーウィンの元刑務所施設を見学しました。この刑務所は、約100年間使用されていた刑務所施設で、研修生も初めて見る刑務所内をカメラを片手に、興味深かげに見学していました。また、実際に牢獄に入ってみて、「狭い」や「暗い」など研修生同士感想を言い合っていました。

今日のランチは、ダーウィン市内にあるイーストポイント（約1キロの砂浜が広がっている場所）前の公園（有田川町立吉備中学校が何個も入る芝生の公園）でPS校が用意してくださった、サンドイッチ、フルーツ、お菓子などをいただきました。ランチを食べると少し元気が回復したのか、芝生の上を走る研修生や、アスレチックで遊ぶ研修生もいました。午後からは、ダーウィンで一番古い教会、ノーザンテリトリー準州の州議事堂を見学しました。教会から州議事堂までは、約10分の距離ですが移動中にはいくつものアボリジニーの文化を伝えるモニュメントがありました。州議事堂内見学では、入り口にセキュリティーチェックがあり、日本との違いを感じました。約一時間の見学を終えるころには、研修生の顔にも若干の疲れが見えました。校外研修からPS校にもどるバスの中では、大半の研修生が寝ていました。日本と全く違う生活環境で生活し始めて今日で6日目。日中の暑さもこたえたのか、研修も折り返しを過ぎ知らず知らずの間に疲労が蓄積されていたのでしょうか。この移動中のバスの睡眠で少しでも体力を回復し、ホストファミリーと楽しい時間を過ごして欲しいです。PS校に到着すると、研修生たちのバディーが出迎えてくれました。バディーの姿を見て研修生たちもほっとしたのか、笑顔が戻りました。明日で、いよいよPS校への登校も最終日を迎えます。日々慣れない環境で、自分なりに精一杯現地研修に打ち込み、ふれ合い成長していく研修生の姿をみながら、明日の登校最終日も、どんな成長の証を見せてくれるか楽しみにしています。